

公益社団法人日本天文学会代議員総会議事録

日 時：2015年9月10日（木）11:30 - 12:25

場 所：甲南大学 岡本キャンパス年会 E 会場（1号館3階）

出席代議員：市川、海部、小久保、半田、望月、梅村、井上、吉川、福井、牧島、杉山、土居、観山、櫻井、山田、寺澤、縣、吉田（直）、太田、中川（以上20名）

欠席代議員：岡村、渡部、柴田、奥村、田村、河合、常田、吉田（道）、馬場、嶺重、佐藤、林、犬塚、松下、百瀬（以上15名）

また、山下庶務理事、柴田会計理事、佐藤年会理事、山岡教育理事、佐藤事務長、西野職員が出席した。

また、市川会長と、半田・望月副理事は代議員を兼任している。

I. 確認事項など

I-1 議事に先立ち、出席理事が20名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

また定款に基づき、議長と署名人の確認がなされた。

議 長：市川 隆

署名人：市川 隆

I-2 前回議事録

資料2に基づき、前回（2015年5月31日）の理事会議事録が報告・確認された。

II. 報告

II-1 理事会(2015年9月9日)報告（山下）

事務所就業規則（給与規定）の変更が承認された。職員の待遇改善のために、法人としての独自の俸給表を持ち、短時間職員の時給の上限(1,000円)を撤廃した。公益法人化以降変更のなかった代議員定数について、定款にあるとおり正会員数に応じた代議員定数にするための詳細を承認した。また、会費に関する細則について正会員（学生）の割引を28年度も継続するための改訂を承認した。

II-2 開催中の年会に関する報告（佐藤）

参加者:本日現在で780人、講演636件。

II-3 学術会議報告（山田）

天文・宇宙物理分野における“大学教育の分野別質保証の参照基準”の検討についてのワーキンググループ・シンポジウムの開催をした。大型計画についてのマスタープランの3年こと改訂について23季のまとめ方の具体案を検討。また、中規模計画の推進・支援の活動を継続。

II-4 IAU 報告（山岡）

ホノルル開催のIAU総会参加者3072名中日本人は161名であった。コミッションの再構築が完了した。系外惑星の名前を付ける投票開始の宣言があった。9つあるDivisionには日本人のPresident, Vic-president がない。Steering committee には3名の日本人がいる。6つのシンポジウムで日本人の発表は口頭4.2%、ポスター5.9%であった。3年後はウィーン、6年後は

釜山で開催予定。

II-5 大学教育の質保証のための課程編成上の参照基準（山岡）

文科省→日本学術会議→日本天文学会という流れで、日本天文学会から案を提出することが求められている。2014年秋の天文教育フォーラムで議論した。共に参照基準を作成する物理分野の進展が早く、日本物理学会の理事会で承認された案が完成している。9/14の天文学・宇宙物理学分科会で議論し、天文分野の案を作成し、電子メールで理事会承認を取る予定。

II-6 全国同時七夕講演会報告（山田）

このイベントは例年行っているが、本年度は104件登録と例年以上の参加があった。

II-7 「日本天文学会オーラルヒストリープロジェクト」の提案（小久保、資料5）

日本天文学会の黎明期の資料が失われつつある。活動に対する学会の承認とサポートをお願いしたい。

II-8 「天文教育普及賞の設置」および「天文遺産の認定」検討WGの発足（半田）

教育賞のWGは6名、天文遺産のWGは4名のメンバーを決定した。

II-9 学会新HPについて（望月）

前理事会のネットワーク委員長主導の新HP案が完成した。理事・代議員に見てもらって意見を頂き、それを参考に今後の方針を決めたい。

III. 議題

III-1 会費に関する細則について（学生割引の継続）（山下、資料6）

これまで実施してきた正会員の学生に対する会費の割引（学生会費の13000円を10000に割引く）について、来年度も継続することが提案され、承認された。

IV. その他

準会員の年会における講演料について（市川）

[資料リスト]

資料1 代議員総会出欠席表

資料2 前回代議員総会（2015/5/31）議事録

資料3 欠番

資料4 「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準」天文学・宇宙物理学分野

資料5 「日本天文学会オーラルヒストリープロジェクト」の提案

資料6 会費に関する細則

2015年 9月10日

会 長：市川 隆 印

副会長：望月 優子 印

副会長：半田 利弘 印

監 事：渡邊 鉄哉 印